

新十津川町社会福祉協議会

新十津川町字中央307番地1 ゆめりあ内  
☎ 76・2600 FAX 76・3505

# ふれあい

No.201

ふれあいネットワーク

## 令和2年度「社会福祉大会・福祉のつどい」の中止について

町民相互のふれあいを通して地域福祉の推進やボランティア活動の拡大を図ることを目的に毎年開催し、今年度も10月10日(土)に開催を予定していましたが「令和2年度新十津川町社会福祉大会・福祉のつどい」を新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、中止とさせていただきます。

福祉作文コンクールの発表・表彰については表彰のみを行い、入賞者名を紙面掲載によりご報告いたします。



昨年の福祉大会・福祉のつどいの様子



### ：福祉体験&クイズ：

新型コロナウイルスの影響により、福祉大会・福祉のつどいをはじめ、さまざまな行事が中止となっている中、3密にならずに皆さんに体験を通して、福祉について考えていただくきっかけを作ろうと、8月3日から21日までの期間、ゆめりあで「福祉体験&クイズ」を実施しました。期間中、77名の町民の皆さんに車椅子体験・高齢者体験・妊婦体験をしていただきました。

体験いただいた方からは、車椅子に乗ってみて、エレベーターやトイレ、ちょっとした坂が大変で、障がい者の人たちの生活が豊かになるような新十津川町をつくってほしい。や子どもが高齢者体験や車椅子体験をしているのを見て大変興味深く思えた。体験を通して、少しでも困っている人の気持ちになって行動してくれたら嬉しい。といった感想をいただきました。福祉体験&クイズに参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

## 花がきれいに咲いています

社会福祉協議会では、だれもが安心して暮らせるまちづくりの一環として、花いっぱい運動（苗代等の助成）を行っています。

今年度は、7団体に取り組んでいただき、自治会館や児童生徒の通学路等の花壇には色とりどりの花が咲いています。

趣旨に賛同し、ご協力いただいた団体の皆さんに感謝申し上げます。



## 社会見学に行つてきました！

あざれあ工房では、8月6日（木）に社会参加促進と社会への関心を深めてもらうことを目的に、共同募金会歳末たすけあい義援金の助成を受けて、社会見学を行いました。

小平町にある「重要文化財旧花田家番屋」にて、ニシン漁で栄えた当時の様子や人々の暮らしについて触れ、学んだ後、岩倉農園にて、小平町でのみ栽培されている「アイボリーメロン」の栽培見学と試食、トマトの収穫体験を行い、美味しく、楽しい学びの場とすることができました。



## 寄付金付き 「当地ピンバッジ」

新十津川町共同募金委員会では、新十津川町がより良い町になるよう願いを込めて、赤い羽根×「とつかわこめぞー」をデザインしたピンバッジを制作しました。第5弾となる今回のピンバッジデザインは、新十津川町の開町130年を記念したデザインです。500円の募金協力につき、1個プレゼントします。ご協力をお願いします。

ピンバッジは、社協事務所、町保健福祉課、町住民課、物産館で取扱いをしています。



# 10月から共同募金運動がスタートします。 ご理解、ご協力をお願いいたします。

期間 10月1日(木)～12月31日(木)

## 赤い羽根共同募金は、じぶんの町を良くする仕組みです。

「赤い羽根共同募金」は共同募金の愛称です。昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まり、多くのボランティアの方々の協力のもと毎年10月から共同募金運動が行われ、今年で74回目を迎えます。

共同募金は「地域福祉の推進」を目的としており、少子高齢化が進む中で、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの福祉活動や、地域で様々な福祉課題に取り組むボランティア活動などに役立てられる募金です。

一人ひとりの町を思うやさしさが、地域で暮らす私たちのつながりを強くし、輪となり広がっていきます。

新十津川町では、10月1日から12月31日までの「赤い羽根共同募金運動」で180万円。12月1日から12月31日の期間で行われる「歳末たすけあい義援金運動」で120万円。合わせて300万円の募金目標を設定し、各種募金活動に取り組みます。

## 集められた募金は、つぎのように有意義に使われています。

### 赤い羽根共同募金の使い道

(令和元年度助成実績)

長寿を祝う会	450,000円
給食サービス事業	150,000円
福祉協力校支援事業	150,000円
子ども会活動支援事業	250,000円
福祉のつどい開催費	442,206円
すまいるあっぷ活動支援事業	150,000円
子どもと高齢者のふれあい事業	60,000円
募金事務費	314,160円
赤い羽根合計	1,966,366円

### 歳末たすけあい義援金の使い道

(令和元年度助成実績)

見舞金贈呈事業	99,500円
募金活動経費	55,901円
地域福祉実践活動推進事業	750,000円
ふれあい昼食会	70,000円
給食サービス事業	250,000円
あざれあ工房社会見学事業	100,000円
歳末たすけあい義援金合計	1,325,401円



シルバー盆踊りの七夕まつりのタベ  
(子どもと高齢者のふれあい事業)



すまいるあっぷ事業



ふれあい昼食会



給食サービス事業



長寿を祝う会事業



# すまいるあっぱ川柳大会

町内11行政区で開催しているすまいるあっぱでは、緊急事態宣言の発出による外出自粛期間中、自宅で頭を使いながら、楽しめることに取り組んでいた方々を対象に川柳を募集する「第1回すまいるあっぱ川柳大会」を行いました。社会情勢や自身の生活を風刺する個性豊かな作品が多数寄せられましたので、いくつかご紹介いたします。

すまいるあっぱは8月から、毎週開催となっています。皆さん、ぜひご参加ください。コロナ禍ですまいるあっぱを開催するにあたり、厳守いただきたいルール（マスクの着用等）がありますので、詳しくはポランティアアセンターまでお問合せください。



夏野菜

真つ赤なトマト

医者いらす

しばらくお休み

すまいるあっぱ

ウエスト  
W 周辺ボヨボヨヨーン

わが家でも

ソーシャルディスタンス

良い距離間

無駄づかい

コロナのせいで

しなくなる

コロナ禍で

親子の電話

密になる

## 褒章通信

▽老人クラブ連合会関係  
新十津川町老人クラブ連合会  
老人福祉功労者表彰

- ・工藤 健 様 (菊水)
- ・柄田 政市 様 (橋本)
- ・高崎 弘之 様 (花月)
- ・佐藤 秀明 様 (菊水)
- ・仲西 信之 様 (大和)
- ・向井 信一 様 (弥生)



下のQRコードからいつでも社協のホームページを閲覧することができます。



## 社協雑記

新型コロナウイルスが流行してから自粛生活。新しい生活様式となり、今まで当たり前であったことが当たり前なくなる事に少なからず抵抗感を覚える。

毎年行われる運動会、盆踊り、お祭りなどのイベント。その時期になれば当たり前のようには開催されていたがことごとく中止。気づいたらもう秋。

今は耐え自分なりに上手に向き合っていく時期で仕方ないのだが、暦だけの季節感というのは、今更だを感じづらいものなんだなあ〜とこの状況になって気づかされる。

1日でも早い新型コロナウイルスの終息とマスクなしで顔が見える日々に戻ってほしい…と願う。

M・N

## ご厚情感謝申し上げます

●社会福祉協議会へ

- ◆松原 聰さん(中央) 5万円  
故 洋子様生前のお礼
- ◆干場 博雅さん(大和) 3万円  
故 貞子様生前のお礼
- ◆熊田 久子さん(花月) 3万円  
故 正一様生前のお礼
- ◆松倉 絹江さん(花月) 5万円  
故 讓様生前のお礼
- ◆羽下 テルさん(大和) 3万円  
故 久太郎様生前のお礼